

学校経営の全体概要

- ・関係法令
- ・学習指導要領
- ・第3期教育振興基本計画
- ・ふくおか未来人材育成ビジョン
- ・福岡県学校教育振興プラン
- ・行橋市教育の基本方針
及び重点施策

本校の教育目標

創造的な知性と
心豊かな感性をもち、
心身ともに逞しい生徒の育成

【子供の実態】

- * 挨拶がよくでき、素直で明るい。
- * 何事にも真面目であるが、自主性・主体性に課題。
- * 保護者・地域は教育に関心が高く、協力的であり、学校への要望も多し期待も高い。

こんな学校に したい

- * 誰もが楽しく
学べる学校
- * 活力ある明るい学校
- * 家庭や地域から
信頼される学校

こんな生徒に育てたい〈重点項目〉

- ◆ 仲間とともに
進んで学習に励む生徒【知育】
- ◆ 自分も人も大切にする
心豊かな生徒【徳育】
- ◆ 心身ともに健康で
逞しい生徒【体育】

こんな教師で ありたい

- * 豊かな感性をもち、
教育愛に燃える教師
- * 研鑽に励み、
協働し高め合う教師
- * 保護者・地域の願いを誠実に受け止め、信頼される教師

本年度の重点目標

- * 活力ある明るい学校
- * 仲間とともに進んで学習に励む生徒
- * 研鑽に励み、協働し高め合う教師

経営の重点

1. 確かな学力の向上を目指す授業改善
 - * 基礎・基本的な知識・技能の定着を図る指導の充実
 - * 思考力・判断力・表現力を高める指導の充実
2. 豊かな人間性の育成
 - * 自他を尊重し、より良い生活習慣や人間関係能力を育成する指導の充実

組織運営に関すること

- 1 組織的な協働体制の確立
～校務分掌・学年組織等の
協働化・機能化～
 - 「研究推進」「人権教育」「特別支援教育」「生徒指導」等の部会の定例開催及び計画的運営
 - 「学力向上プラン」の計画的な実施と評価・改善の充実
〈学力向上推進委員会〉
 - 実践状況や成果と課題の把握と方策の検討
〈研究推進委員会〉
 - 生徒指導における「不登校」「いじめ」等の事案に対する、報告・連絡・相談・見届けの徹底
 - 「運営委員会」における確実な学年情報の提供及び共有
- 2 教職員の資質向上（人材育成）
 - 校内研修と基本研修の計画的な実施
 - OJTを活用しての授業力の向上
 - キャリアステージに応じた経営参画意識の高揚
 - 若手教員が相互に研鑽を深められる場の設定
- 3 信頼される学校づくり
 - 教育課程の質と量の向上
 - 学校自己評価の計画的な実施と公表及び評価を生かした教育活動の改善
〈PDCAサイクルの充実〉
 - 各種通信、ホームページによる情報提供、学校教育活動の「見える化」の促進

教育活動に関すること

- 1 確かな学力の育成と
「学力向上プラン」の確実な実施
 - 教育課程の質と量の向上
 - 校内研修を踏まえて「伝え合い」指導を導入した授業づくり
 - ICTを活用した授業づくり
 - 「泉タイム」の充実
 - 「学力向上 虎の巻Ⅱ」の活用
- 2 豊かな人間性の育成と
基本的生活習慣の定着
 - 規範意識・自尊感情を高めるために、「鍛ほめ福岡メソッド」を活用
 - 道徳教育・人権教育の充実
 - 「積極的な生徒指導」の推進
*「生徒指導の3機能を生かした授業づくり
 - 生活指導充実のための家庭と連携
*福岡「アクション3」の実施と啓発
 - コミュニケーション科・郷土科の
確実な取組
- 3 キャリア教育の充実
 - 特別活動を要とした進路指導の充実
 - 「キャリアパスポート」を活用し、小・中・高の系統性を踏まえた指導の充実

教育環境に関すること

- 1 施設設備・言語環境整備
 - 各教科等におけるICT有効活用の推進
 - コロナウイルス感染予防対策の徹底
 - ユニバーサルデザインの視点を生かした「シンプル・クリア・ビジュアル」な学校〈教室〉環境づくり
 - 「挨拶」の充実と「言語環境」の整備
 - 学校図書館を活用した読書活動の推進・図書館教育の充実
- 2 児童の安全確保
～危機管理体制の確立～
 - 安全点検、交通指導の徹底
 - 交通安全教室、薬物乱用防止教室、避難訓練等の計画的実施
 - 「安全・安心メール」を活用した家庭との連携
- 3 PTA・地域との連携強化
 - 学校評議員会の活用
 - CSの立ち上げに向けた体制づくり
 - 小・中一貫教育の推進



教科・領域ごとの本年度の努力点【指導の重点】

取組の具	各教科	学習調査等の結果を踏まえた「学力向上プラン」に基づき、「虎の巻」を活用するなど指導法や評価方法の工夫改善を図る。	
	道徳教育	積極的に「ルール」を守り、「マナー」を身につけ、「モラル」に基づいて行動しようとする「規範意識」の醸成を図る。	
	総合的な学習の時間	目的や根拠を明らかにしながら、情報や経験を適切に活用して課題に取り組む生徒を育成する。	
	特別活動	学級活動・生徒会活動・学校行事を通し、他者と協働する中で、集団の一員として行動する自主的・実践的な態度を育成する。	
	特別支援教育	特別な支援を要する生徒の実態把握に努め、関係機関等を連携するなど、適切な支援の提供にあたる。	
	人権教育	人権意識・自尊感情を高める教育活動の実践を通して、差別を見抜き、差別をしない、許さない明るい学校づくりに努める。	
	生徒指導	教師と生徒との信頼関係を確立し、教師間・保護者・地域との連携を図りながら、積極的生徒指導の推進を図る。	
	キャリア教育	「キャリアパスポート」を活用し、生徒との対話的な指導とともに、生徒の進路実現をサポートする。	
	健康教育	学校保健	感染予防に努めるため、その方法や情報収集の仕方を身につけさせ、自分の健康を自分で管理できる能力を身につけさせる。
		学校安全	様々な状況を想定した避難訓練を実施するとともに、学校安全にかかる日や週間を捉えて安全意識の向上を図る。
食に関する指導 (学校給食)		給食の時間における衛生面の徹底。健康の保持増進のための栄養や食事の理解を図る。	
情報教育	ロイロノートを活用し効率的・効果的な授業を展開するとともに、情報活用能力向上のため、教育活動全体を通してi-Padの活用を推進する。		
学校図書館教育	図書委員会活動を通して、より多くの生徒の図書館利用を進める取組を行う。		

